

授業科目	看護マネジメント論				単位	1		
履 修	選択	関連資格			ナンバリング	NU31606J		
開講年次	4	開講時期	前期	該当DP	DP1-2 DP2-1 DP3-1 DP3-2 DP4-1 DP4-3			
担当教員	隅田 由加里							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>本授業は講義とグループワークを併用しながら、質の高い医療・看護を実践するためのマネジメント(管理)を思考することを目的としている。</p> <p>2年次での看護マネジメント総論の授業ではマネジメントの基礎的知識を学んだ。この4年次では、2年次の既習の知識と3年次の実習体験を活用しながら、マクロ的視点から見たわが国の保健医療福祉の動向を踏まえつつ、臨床現場で行われている医療・看護サービスのマネジメントの実際と課題を、「医療安全管理(事故防止・感染防止管理)」と「PFM(Patient Flow Management)を考慮した看護部・病棟における看護サービスマネジメント」を軸に学習する。さらに「病棟」における看護ケアのマネジメントを「業務のマネジメント」「セルフマネジメント」の観点から学習する。</p> <p>本授業を通して、病院という組織が効果的・効率的な医療・看護を提供するために、どのようなマネジメント枠組みを構築しているのかをマネジメントのプロセスと資源の利活用から思考する。さらに現在の医療において欠かすことのできない同職種・多職種間の連携・協働を、リーダーシップ・フォロアーシップ・メンバーシップをはじめとする協働のスキルや、専門職としてのコミュニケーションスキル、さらに日々の業務の分業と再分配や協力、自己管理の観点から思考する。そして多職種連携・協働、チーム医療における看護師の存在意義や役割についての理解を深め、最終的に自身が考える「医療・看護の質」とは何かを模索する。</p> <p>担当者は、実務家教員として福岡県看護協会認定看護管理者教育課程「セカンドレベル」、福岡県看護協会医療安全管理者養成研修と感染管理者コースを修了し、長きにわたり看護管理者としてマネジメントを実践してきた経験をもつ。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>2年次で学修した看護マネジメントの基礎的知識を振り返り、医療・看護マネジメントの定義とプロセス、組織化、資源管理とその利活用に関する知識が修得できる。</li> <li>「医療安全管理」「病棟管理」を題材に、質の高い医療・看護を効果的・効率的・創造的に提供するための、看護サービスマネジメントのプロセス(「計画化」「組織・人事化」「指揮」「統制」)を、資源の利活用も含め論理的に思考できる。</li> <li>限られた人材と時間の中で、質の高い看護を提供するためのケアのマネジメントを、業務のマネジメント(「業務計画の優先度」「チームメンバーとの役割分担や業務の再分配・協力」)やセルフマネジメントの視点で論理的に思考できる。</li> <li>「心理的安全性」とは何かを探求するとともに、医療・看護マネジメントにおいて「心理的安全性」の必要性・重要性を思考できる。</li> <li>自立した女性として、生涯を通じて看護職として社会貢献できるよう、組織における看護師の存在意義を思考する意欲をもっている。</li> <li>医療・看護の質の維持・向上のためにはチーム医療が重要であることを理解し、チームメンバー間で連携・協働・協力を互恵的に行う意欲をもつことができる。</li> <li>看護専門職となることを自覚し、限られた時間の中で倫理に基づきチームメンバーとともに課題に取り組む行動がとれる。</li> <li>看護サービスと看護ケアのマネジメントの学びを継続し、医療・看護の質とは何かについて模索できる。</li> </ol>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	30	50	10	10	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)	0	30	0				30	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	0		50		0		50	

思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)			0		5		5	
関心・意欲 (DP3-2)			0		5		5	
態度(DP4-1)				5		0	5	
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)				5		0	5	
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル					標準的なレベル			
<p>1. 2年次で学修した看護マネジメントの基礎的知識を振り返り、医療・看護マネジメントの定義とプロセス、組織化、資源管理とその利活用に関する知識を修得し、その学びを活用した自身の見解を記述できる。</p> <p>2. 「医療安全管理」「病棟管理」を題材に、質の高い医療・看護を効果的・効率的・創造的に提供するための、看護サービスマネジメントのプロセス(「計画化」「組織・人事化」「指揮」「統制」)を、資源の利活用も含め論理的に思考し自身の見解を記述できる。</p> <p>3. 限られた人材と時間の中で、質の高い看護を提供するためのケアのマネジメントを、業務のマネジメント(「業務計画の優先度」「チームメンバーとの役割分担や業務の再分配・協力」)やセルフマネジメントの視点で論理的に思考し自身の見解を記述できる。</p> <p>4. 「心理的安全性」とは何かを探求しながら、医療・看護マネジメントにおいて「心理的安全性」の必要性・重要性を思考し自身の見解を記述できる。</p> <p>5. 自立した女性として、生涯を通じて看護職として社会貢献できるよう、組織における看護師の存在意義を思考する意欲をもち、自身の見解を記述できる。</p> <p>6. 医療・看護の質の維持・向上のためにはチーム医療が重要であることを理解し、チームメンバー間で連携・協働・協力を互恵的に行う意欲をもつとともに、さらにリーダーシップを図りチームの課題解決のため取り組むことができる。</p> <p>7. 看護専門職となることを自覚し、限られた時間の中でセルフマネジメントを実践し、自己の成長を考え、倫理に基づいた節度ある行動のもとチームメンバーとともに自発的に積極的に課題に取り組むことができる。</p> <p>8. 看護サービスと看護ケアのマネジメントの学びを継続し、医療・看護の質とは何かについて模索し続ける姿勢を身に付けている。</p>					<p>1. 2年次で学修した看護マネジメントの基礎的知識を振り返り、医療・看護マネジメントの定義とプロセス、組織化、資源管理とその利活用に関する知識を修得できる。</p> <p>2. 「医療安全管理」「病棟管理」を題材に、質の高い医療・看護を効果的・効率的・創造的に提供するための、看護サービスマネジメントのプロセス(「計画化」「組織・人事化」「指揮」「統制」)を、資源の利活用も含め思考できる。</p> <p>3. 限られた人材と時間の中で、質の高い看護を提供するためのケアのマネジメントを、業務のマネジメント(「業務計画の優先度」「チームメンバーとの役割分担や業務の再分配・協力」)やセルフマネジメントの視点で思考できる。</p> <p>4. 「心理的安全性」とは何かを検索し、医療・看護マネジメントにおいて「心理的安全性」の必要性・重要性を思考できる。</p> <p>5. 自立した女性として、生涯を通じて看護職として社会貢献できるよう、組織における看護師の存在意義を思考する意欲をもっている。</p> <p>6. 医療・看護の質の維持・向上のためにはチーム医療が重要であることを理解し、チームメンバー間で連携・協働・協力を互恵的に行う意欲をもっている。</p> <p>7. 看護専門職となることを自覚し、限られた時間の中で倫理に基づきチームメンバーとともに課題に取り組む行ことができる。</p> <p>8. 看護サービスと看護ケアのマネジメントの学びを継続し、医療・看護の質とは何かについて考えることができる。</p>			
授業計画								
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)				
1	<p>テーマ: 医療・看護にマネジメントが求められる背景と看護マネジメントの基礎知識の振り返り(講義・グループワーク: 隅田由加里)</p> <p>* 以下を2コマで実施する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わが国の社会保障制度の現状と課題</li> <li>・看護マネジメントとは何か</li> <li>・看護マネジメントの3つのレベル</li> <li>・組織の重要性</li> <li>・資源とは何か(ヒト、モノ、カネ、時間、情報)</li> </ul>	<p>・シラバスとテキストを用いて科目についてのオリエンテーションを実施する。</p> <p>・講義: テキストとスライドによる説明を行う。資料は当日配布する。</p>	<p>【予習】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 2年次で学修した看護マネジメント総論で得た基礎知識を再度確認し復習する</li> <li>2. 参考文献を活用し基礎知識を高める</li> <li>3. 課題の自己学習</li> <li>4. 看護管理や医療安全に関する研究論文を読む</li> </ol>	<p>【予習・復習】: 60分</p>				

	・診療報酬の理解と病院経営	・グループワーク: 小グループに分かれ課題に取り組み、発表と意見交換を行う。	【復習】 1. 本日の講義に該当する部分の復習を行う 2. 該当分野の国家試験過去問題を解いて理解する。	
2	テーマ:看護師が所属する「看護部」の理解と存在意義 (講義・グループワーク:隅田由加里) * 以下を1コマで実施する ・病院組織の特徴と看護部の位置づけ ・看護部の組織構造 ・「看護サービス」を管理する意義 ・役割分担	第1回参照	第1回参照	【予習・復習:60分
3	テーマ:看護師が所属する「病棟」の理解と存在意義 (講義・グループワーク:隅田由加里) * 以下を2コマで実施する ・病棟の存在意義と役割 ・病棟運営(人材育成、労務管理、時間管理、業務管理、物品管理、情報管理) ・役割分担	第1回参照	第1回参照	【予習・復習:60分
4	テーマ:「医療安全管理(事故防止管理)」の観点から医療・看護サービス管理を学ぶ (講義・グループワーク:隅田由加里) * 以下を2コマで実施する ・医療安全管理に関する基礎的知識 ・医療事故防止における政策 ・政策から考える医療サービス管理(組織化) ・医療サービス管理を踏まえた看護ケア管理への移行	第1回参照	第1回参照	【予習・復習:60分
5	テーマ:「医療安全管理(感染防止管理)」の観点から医療・看護サービス管理を学ぶ (講義・グループワーク:隅田由加里) * 以下を1コマで実施する ・感染防止管理に関する基礎知識 ・感染防止における政策 ・政策から考える医療サービス管理(組織化) ・医療サービス管理を踏まえた看護ケア管理への移行	第1回参照	第1回参照	【予習・復習:60分
6				
7				
8				
9				
10				
11				

12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	<p>マネジメント(管理)は、単に専門知識を深め、施設や物品を充足させるという物質的要素を整えるだけではうまく機能しません、なぜなら医療・看護を実践するのは人だからです。そしてこの人が行う医療・看護活動が質の高いものとなるよう、効果的・効率的・創造的なマネジメントを行うのもまた人です。よって人を活かすマネジメントを実践するためには、物質的要素に加え、互恵的人間関係を構築する協働のスキルやコミュニケーションスキルの存在が必須となりますので、経営・経済・情報処理などの知識とともに人間関係論、キャリア形成論などの知識を復習しておきましょう。そして本講義を通して、マネジメントにおける基礎知識の修得とともに専門職が仕事に関わる心構え(プロフェッショナル意識)の重要性も学んでいってください。また各病院のホームページ等を閲覧し、各組織構造をはじめ、理念や方針などを比較し、各施設の特徴や重要視していることを読み取っていきましょう。そして看護マネジメントや医療安全管理の研究論文を熟読し、現在のマネジメントの動向や課題を抽出してください。</p>			
テキスト	<p>2年次に購入した  「ナースング・グラフィカ 看護の統合と実践① 看護管理」(メディカ出版)  「ナースング・グラフィカ 看護の統合の実践② 医療安全」(メディカ出版)</p>			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<ul style="list-style-type: none"> <li>・井部俊子 中西睦子監修:看護管理学習テキスト 第1巻～8巻、別巻(日本看護協会出版会)</li> <li>・上泉一子ら編集:系統看護学講座 統合分野 看護管理 看護の統合と実践①</li> <li>・中西睦子ら編集:看護サービス管理 医学書院</li> <li>・細田満和子:「チーム医療とは何か」医療とケアに活かす社会学からのアプローチ(日本看護協会出版会)</li> <li>・P.F.ドラッカー著 上田惇生編訳:[エッセンシャル版] マネジメント 基本と原則(ダイヤモンド社)</li> </ul>			

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岩崎夏海著:もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら(ダイヤモンド社)</li> <li>・杉山良子:ナースのための危険予知トレーニングテキスト(メディカ出版)</li> <li>・河野龍太郎:医療におけるヒューマンエラー「なぜ間違えるどう防ぐ」(医学書院)</li> <li>・東京慈恵会医科大学附属病院 看護部・医療安全管理部編著:TeamSTEPPS を活用したヒューマンエラー防止策 SBAR を中心とした医療安全のコミュニケーションツール(日本看護協会出版会)</li> <li>・芳賀茂:失敗のメカニズム 忘れ物から巨大大事故まで(角川ソフィア文庫)</li> <li>・石井遼介:心理的安全のつくりかた(日本能率協会マネジメントセンター)</li> </ul>
<p>授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ</p>	<p>この大学時代が終了したら、皆さんは看護職として社会に巣立っていき、様々な医療機関、または地域の施設や企業に就職すると思います。それらの機関は全て組織化され、組織の目標(質の高い医療・看護を提供する)を達成するために、個人でもチームでも、そして組織全体においても PDCA サイクルを回しながら、より良い医療サービス提供のために思考し実践しており、皆さんもその実践者とならなくてはなりません。そのためには「組織」「経営」「看護サービス管理」などの意味を理解する必要がありますので、この単元を通して学びを深めていってください。またマネジメントとは管理者だけが知り行うものではなく、組織に属するすべての人が実践するものであることを理解してください。そしてその知識や技法を修得し、看護総合実習や、来年度からの看護専門職として実践する「看護ケアのマネジメント」に役立ててほしいと思います。</p> <p>また本授業では、優れた経営者の書いた書籍や、コミュニケーション、リーダーシップ・メンバーシップなどの書籍、テーマ組織の研究論文を精読して、組織で働くということについて考え、社会人としてのあるべき姿を模索してください。</p>
<p>達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法</p>	<p>小テスト(30%)課題レポート(50%)、発表(口頭)、プレゼンテーション(10%)、レポート外の提出物(10%)で総合的に評価します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 【知識・理解】の看護学科 DP1-2)「看護実践に必要な基本的な知識を修得している。」は、小テスト(30%)から評価します。</li> <li>2. 【思考・判断】の看護学科 DP2-1)「健康上の課題を解決するため、情報や知識を活用し論理的に思考・判断できる」は、レポート(50%)、の内容から評価します。</li> <li>3. 【関心・意欲】の看護学科 DP3-1)「自立した女性として、生涯を通じて社会貢献しようとする意欲をもっている。」と DP3-2)「健康支援に関わる人々と協働・連携し、生活の質を維持・向上させようとする意欲をもっている。」は、レポート外の提出(10%)から評価します。</li> <li>4. 【態度】の看護学科 DP4-1)「看護実践者としての責任を自覚し、倫理に基づく行動ができる。」と DP4-3)「社会の変化を捉え、自ら学び続ける姿勢を身につけている。」は、発表(口頭)、プレゼンテーション(10%)で評価します。</li> </ol> <p>* 小テストは授業時間内に前回の学びを問う形式で実施します。詳細は第1回目の授業時に説明します。  * レポート課題とレポート外の提出物に関する詳細は授業内で説明します。  * 小グループに分かれてのグループワークの発表を授業内に行なっていただきます。</p> <p>課題に対するフィードバックは、講義の時間の中で、適宜口頭で行います。</p>

